

病害虫発生予察指導情報

(ナシ・ニセナシサビダニ No. 3)

平成30年6月6日
鳥取県病害虫防除所

1. 情報の内容

6月上旬現在、ニセナシサビダニの発生量は平年に比べやや多くなっている。

2. 情報の根拠

- (1) 6月上旬現在、県予察ほ場におけるニセナシサビダニの葉当たり個体数は743.0頭（平年：384.9頭）で、発生量は平年に比べやや多い（表1）。
- (2) 向こう1か月の気象予報から、発生盛期は平年並の6月中下旬頃と見込まれる。

表1 ニセナシサビダニの発生活長（園芸試験場）

月・旬	本年	平年
5・上	12.8	1.4
5・中	25.0	7.6
5・下	243.0	56.4
6・上	743.0	384.9
6・中		1,094.3
6・下		1,391.5

注) 殺ダニ剤無散布ほ場、1葉あたり寄生個体数（3樹10葉調査）

3. 防除上注意すべき事項

- (1) 密度増殖が著しい種（ハダニ類、サビダニ類など）は、発生初期の防除（初期密度の低い時点での防除）が重要である。また、ニセナシサビダニ被害の多少は新梢停止期の早晩の影響が大きい。
- (2) 第2回目の防除時期は、6月中旬頃を目安とする。薬剤はハチハチフロアブル2,000倍液などを使用し、本種が寄生している新梢先端部に薬液が十分付着するように散布する。

(参考)

防除区（5月23日にハチハチフロアブル2000倍液を散布）におけるニセナシサビダニの発生活長

表 ニセナシサビダニの発生活長（園芸試験場）

月・旬	防除区	無散布区
6・上	64.8	743.0
6・中		
6・下		

注) 1葉あたり寄生個体数（3樹10葉調査）

要約：6月上旬現在、防除区のニセナシサビダニの発生密度は低い。